

## 第232回 番組審議会

1. 日 時 平成26年5月13日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名  
出席委員数 11名 (欠席委員数 0名)

### ○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)  
竹中 陽一 (副委員長)  
—以下50音順—  
石田 征広  
加藤 裕一  
木戸場 美代子  
久慈 浩介  
斎藤 純  
菅原 正二  
八木橋 伸之  
役重 真喜子  
吉田 浩次

### ○ 会社側出席者 (5名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)  
小原 忍 (専務取締役)  
前田 秀男 (取締役技術局長)  
藤原 銀司 (取締役営業局長)  
工藤 浩 (取締役総務局長)

### ○ 事務局 佐々木 久仁子

#### 4. 講演 『SL企画』及び『みちのくSLギャラクシー』

(株)フジテレビジョン総合開発局

メディア推進センター部長 吉田 豪 (よしだ ごう) 様

#### 5. 議事概要

今回は、フジテレビ総合開発局メディア推進センター部長吉田豪様から『SL企画』及び『みちのくSLギャラクシー』について、お話をおうかがいしました。議事の概要は以下の通りです。

##### ●フジテレビ総合開発局メディア推進センター部長吉田豪様のお話

・「フジテレビらしい元気の良い番組を作れないか」、「他局がやっていない企画を考えよう」と各セクションの第一線のプロデューサーを集め社内プロジェクトを立ち上げた。

・「東京と被災地を結んでワクワクするような元気が出る企画はないだろうか」という思いがあり、最終的に「被災地から東京までSLを走らせる」という企画に決定した。

JRとの交渉は半年以上にも及び、警備などの問題から「釜石～花巻間」「尾久～上野間」をSLで、残りの区間は電気機関車で走行することにした。

・揺れる電車の中でのライブを嫌な顔もせずやってくれたアーティストの皆さん、タモリさん、加山さん、そして100名以上の技術スタッフ、スポンサーを探してくれた営業等、ただ“面白い”というだけで皆が協力してくれたことで実現できた。協力してくれた人たちに感謝している。

・放送後、視聴者からの声は賛否両論いろいろあった。番組で紹介した方の関係者から手紙もらったが、とても考えさせられ、またとても励みになる手紙で改めてやって良かったと思った。今後もこのような企画を一生懸命考えていきたい。

## ●出席者からの意見・感想

- ・被災地からSLに乗った人たちがみな良い表情をしていて、勇気付けられたように感じた。
- ・都内をSLが走る映像は壮大で迫力があり、愉快的気分になった。
- ・大掛かりな準備があったからこそできたことだと思う。晴らしい映像があちこちにあり関心した。
- ・SL世代なので当時を思い出し懐かしく見る事ができた良い番組だった。
- ・途中、出演者がはしゃいでいるだけで、どのような終わり方をするのかと思う部分もあったが、SLが都心に入り沿道にいる多くの人に迎えられるシーンは感動的だった。
- ・「被災地の思いを首都圏まで届ける、その為のSL」という作り方をした方がもっと良かったのではないかな。
- ・フジテレビの熱意で企画がスタートしたところから見せた方が繋がりがはっきりし、効果的だったのではないかな。
- ・これからも他局ではやれないような企画をどんどんやってほしい。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置  
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

\* 平成26年5月14日（水） 産経新聞 東北版

\* 平成26年5月24日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ  
番審リポート」として放送

\* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

#### 8. その他の参考事項

特になし